

第13期事業計画

2021年9月1日～2022年8月31日

公益社団法人
日本サードセクター経営者協会

I 基本方針

サードセクター組織の経営の責務を負う人材が広く地域や事業の種類を越えて横断的につながり、互いに知見を学びあい(つなぐ)、互いに切磋琢磨して経営力を高め(伸ばす)、声をだし、さまざまな提言活動を行う(提言すること)により、日本が直面する多くの社会的課題の解決に向けて、サードセクター、企業セクターならびに行政セクターが、それぞれ適切な役割を果たしながら連携し、多元的な社会の実現を目指すことを目的としています。

1. 事業に関する方針

サードセクター組織の経営者の能力開発事業(つなぐ事業)

地域や社会の課題は多様化、複雑化、深化してきています。ところが、政府・行政の財政制約も相まって、地域に必要なサービスが継続的に提供されなくなるおそれが高まってきています。こうした状況の下、地域における社会的課題について、民間活力を活用して解決することの重要性が増大し、現状、多様なサードセクター組織がこうした課題に対応したサービスを提供し、活動しています。サードセクター組織の経営者がテーマ別や地域別に部会を立ち上げ、知識や経験を交流することで、より今の社会のニーズの合ったサービスの提供ができるように支援します。さらに、1998年に施行された特定非営利活動法人法の施行により設立してきた特定非営利活動法人は、次世代へと後継者への継承も始まっています。次世代メンバーが先輩サードセクター組織の経験を学ぶ機会をつくっていきます。

サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援事業(伸ばす事業)

新型コロナウイルスの影響は、ひとり親、障害児・多胎児がみえる等弱い立場にある家庭にさらに負荷がかかっています。時間がたつにつれてストレスが増してくる状況は東日本大震災や熊本地震の避難所の課題に類似しています。DVや児童虐待はあってはならないことではありますが、感染拡大によりさらに深刻化する可能性があります。感染拡大の恐怖により高齢者が自発的に外出を自粛する傾向もあり、過去の災害時においても要介護認定者の動作が不自由になり、長く続けば続くほど、ゆっくりと確実に高齢者の機能や能力は低下していきます。

このように新型コロナウイルスの影響により社会課題自体がより深刻化していますが、同時にこれらを解決するためのNPO等の活動もまた、対面や濃厚接触が必要であるために活動が困難になっていることが今回の事態において、

特有の重大な課題となっています。感染拡大を抑止しながら、サードセクター組織が活動を実践するにあたり、工夫をして成果をあげられるような新たな様式活動を編み出していく活動を支援をします。

サードセクターの在り方に関する調査、研究と提言事業(提言する事業)

サードセクター組織への期待の高まりとともに、ソーシャルインパクト評価など、成果について問われるようになってきています。当協会のオリジナルツールである、ツリー型ロジック・モデル・シートを活用するとともに、サードセクター組織の評価について、調査し、提言を行っていきます。

昨年実施した、コロナ禍においても地域に必要なサービスを提供するための「新しい生活様式」を生み出す活動について、12 団体の取り組みを紹介し、全国各地で活動する団体に参考にしていただけるようにしていきます。

また、地域で必要なサービスが提供されなくなる状況において地域運営組織の活動も期待されます。全国の好事例や意欲的な取り組みを調査し、提言していきます。

2. 運営に関する方針

本部と東海支部が連携し、全国各地のサードセクター組織の経営者と連携を取りながら、日本全国でのサービス展開を図り、JACEVO の理念実現に向けて活動していきます。

II 事業計画

1. つなぐ事業

(1) 入会促進活動の実施

JACEVO は東京都を中心に起業塾を実施してきています。それらの経営者がさらに成長できるように入会を促していきます。また、東海支部を拠点に入会を促していきます。

期間: 通年

目標: 延べ 80 名

(2) 年次大会の実施

コロナ禍においても現場はまったなしであり、もしくはさらに深刻な課題が顕在化してきています。それらの課題を捉え、活動を実践してきた団体の事例紹介をおこない、今後の活動について考える機会とします。

期日: 2021年12月

活動目標：参加者 50 名程度

(3) 部会活動の促進

会員同士の自発的な動きにより部会開催(テーマ別・地域別)を促していきます。とくに、これまでにJACEVOが起業支援をした全国各地の起業家や会員の交流を通じ、さらに次世代などとの交流が深まるような取り組みをしていきます。

期間:通年

活動目標:昨年スタートしたギフトドチルドレン部会
新しく起業した経営者による部会等

(4) facebook、メルマガ等による情報発信

会員のみならず、サードセクターの形成、政府・行政セクターとサードセクターとの関係のあり方に関心をもつ専門家、研究者、政府・行政関係者、企業に対しても、サードセクター組織の活動紹介や経営者の紹介、サードセクターの経営に関する情報、政府・行政への提言活動や制度や法律の改正などについて、情報を発信していきます。

期間:通年

YouTube を活用し、これまで起業支援をしてきた、サードセクター組織の経営者の起業物語や活動を紹介していきます。

期間:通年

活動目標:月 1 回程度収録配信

clubhouse を活用し、これまで起業支援をしてきた、サードセクター組織の経営者の起業物語をお聞きし、公開し、参加者とともに情報交換します。このことで、起業家のつながりをつくっていきます。

期間:通年

活動目標:月 2 回

(5) HP の運営

JACEVO設立の趣旨と活動の本旨を伝えるための HP の充実を図ります。また、JACEVOが起業支援、経営支援をおこなってきたサードセクター組織の活動、経営者の想い、その成果を発信していきます。

期間:通年

2. 伸ばす事業

(1) 地域社会雇用創造事業

・起業支援、人材養成の iSB 公共未来塾を開催します。

期日: 2021 年 9 月、10 月、12 月、2021 年 2 月

活動目標: 参加者各 15 名程度

(2) フルコストリカバリーセミナー事業

フルコストリカバリーの必要性を啓発するためのセミナーを開催します。iSB 公共未来塾のカリキュラムの中で行っていきます。

期日: 2021 年 9 月、10 月、12 月、2021 年 2 月

活動目標: 参加者各 15 名程度

(3) セミナーの実施

サードセクター組織の経営者が直面する課題や必要とする情報などを中心に捉えたセミナーを開催します。

期日: 2021 年 12 月、2022 年 3 月

活動目標: 参加者各 15 名程度

ツリー型ロジック・モデル・シート作成のための研修を行います。ツリー型ロジックモデルの誕生、意味や意義、作成方法についてのセミナーを開催します。

期日: 2021 年 5 月

活動目標: 参加者各 15 名程度

(4) 講師派遣事業

サードセクター組織の経営、政府・行政とサードセクターの関係、サードセクターの法律、制度の関係などについて、政府・行政セクター、企業セクター、サードセクター、教育機関等に対し講師を派遣します。

期間: 通年

活動目標: 5 件

(5) コンサルティングの実施

サードセクター組織の経営力強化のため、JACEVO および JACEVO 認定コンサルタント、サードセクター組織への個別コンサルティングを実施します。

休眠預金を活用し、サードセクター組織のリーダーと連携し、資金的支援と非資金的支援双方にて、地域課題を解決できるサードセクター組織を支援していきます。

期間:通年

活動目標:30団体へのコンサルティング

(6) サードセクター組織コンサルタント養成事業

個々の組織に対して寄り添い支援としておこなう個別コンサルティングは社会的価値と経済的価値を創出するサードセクター組織の基盤強化、成果志向の経営には不可欠です。JACEVOが活用している、ツリー型ロジック・モデル・シート、ビジネス・モデル・シートの作成支援ができるコンサルタントの養成を行っていきます。

期間:2022年5月

活動目標:JACEVO認定コンサルタント5名輩出

3. 提言する事業

(1) サードセクター形成状況調査

サードセクター組織の評価のありかたについて調査を行います。

期間:2021年9月～2022年5月

目標:セミナーなどでの調査結果の報告、HPでの紹介

(2) 政府・行政との政策研究会

新しいタイプの地域型サードセクター組織の必要性や、地域でのネットワークづくり、支援の在り方について、基礎自治体と意見交換を行います。

期間:通年

目標:年2回程度

(3) 政府・行政などへの提言活動

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、現場では、地域課題が複雑化し、サードセクター組織の経営も深刻化しています。サードセクター組織の実践者の立場から提言活動をおこなっていきます。

期間:通年

活動目標:政府・行政への提言3回

(部会活動において、意見交換した内容を含む)

以上